

2023 年 3 月 1 日

2022 年度「多摩地域市民活動公募助成」事業実施報告書

団体名 アスペルガー・アラウンド

代表者・役職名 氏名 櫻田 万里

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

アスペルガー(ASD)当事者との交流会

2. 団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

当団体設立時、ASDの周囲の人々に生じるカサンドラ症候群は知られておらず、ASDのこだわりの強さ、人間関係における「共感性の欠如」などから、ストレス過多、社会的に孤立と徐々に深刻化し精神疾患を抱える人も少なくありません。当団体の櫻田は、1990年代から教育現場での障害者支援を通し、当事者支援と同時に周囲の人々への支援の必要性から前身である「ハーンの花たち」を立ち上げ、2013年1月当団体を設立しました。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

現状、ASD当事者と家族、支援者を同時に支援するプロジェクトはほとんど行われていません。当団体においては、以前より同時支援として夫婦参加型のイベントを行い、当事者との交流が相互理解と解決思考を深める効果があることを確認しています。今プロジェクトは、発達障害当事者及びパートナー計7名の講師を招き、発達障害に関心のある人、または発達障害に関わる人々を対象に、当事者交流イベントを開催します。人々の相互理解を深め、参加者それぞれが共助の方向性を見いだすインクルーシブ社会の実現を考える機会の提供が目的です。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

多摩市関戸公民館で行う発達障害当事者による講演会と交流会。
ASDは、コミュニケーションに困難が生じることが多く、自らの特性を客観的に把握し説明できる人が少ないです。その為、当事者との交流会は全国的にも珍しいものです。当団体では、以前より当事者の協力者を迎え、様々な形の交流会を実践してきました。当事者自らが語る、自己の特性や困りごと、人間関係などの語りは実体験であることから座学で得られる知識とは異なり、興味深く非常に説得力があります。座談会という交流会形式を用いることにより、参加者は当事者に対する疑問や質問を講師に直接聞くことができ、双方の理解を深める貴重な機会となります。また、複数の講師を招致することで多様性が広がると考えられます。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

ASD当事者の参加が6%とカサンドラ支援が前面に出ている場所へ参加する当事者が予想より多くいたことは、インクルーシブ社会の実現を目指すという目標に近づく有意義なプロジェクトとなりました。助成金により当初予定していた講師・協力者数より増員できました。複数の当事者の話を実際に多く聞けること、広い会場での実施が可能となったことも参加者増につながり、より多くのカサンドラ、ASD当事者が成果を持ち帰ることができたといえます。支援者の参加もあり、新たな視点からの気づきも得られたと考えます。多摩市長の来場もあり関心の高いプロジェクトでありました。また、交流会を通し、講師も互いに話し合い、ともに悩み、ともに解決を目指すという、当事者、周囲の人間、支援者すべてを含めた全員が対等な立場に立てる状況が多く生まれたことも収穫です。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

今イベントは多摩地区で助成金を受ける機会が得られたことで実現可能になったという側面があります。地方と比べ、より先進的な取り組みをおこなえる地盤はあるが任意団体であるがゆえに財政上の課題は残ります。

プロジェクトを通してカサンドラ支援は、より発達障害当事者に対する理解を深め、共に助け合う「相互共助」の姿勢が高まることの確認ともなりました。当事者会、ピアサポートにとどまらず、支援する側、される側といった一方的で固定化したな立場ではなく、ともに支え合い互いに自立できるように協力できるための場を今後も作っていくと共に現在、困難な状況にあるカサンドラ当事者の継続的支援もしていきたいと考えます。

(294 字)

7. 参考資料: プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等の現物またはコピー、活動状況の写真などを、“必ず”、別途、ご提供ください。



ASDパートナーと座談会

ASD当事者から学ぶカサンドラ脱出のコツ

カサンドラのためにも、お知りやすくてお困りな方にこそご説明できるASD当事者や家族を招いたイベントを開催します。午前は講演会、午後はグループごとに分けて座談会形式で進行し、ASD当事者の理解も深めていただく情報セッションです。

1月21日(土)

10時開場 12時15分開始
15時終了

会場：東京都江東区豊洲 大倉健堂
多摩地区第4-12「ヴィータ・コミュニー」204号

詳細は
アスペルガー・アライウンド
で検索 ♪

◎会場案内
<https://www.asperger-around.jp/seminar/202301>
◎オンライン受付(チケット)は<https://www.asperger-around.jp/seminar/202301>



◎問い合わせ
アスペルガー・アライウンド aspergeraround@gmail.com
電話:03(6)-4364-9926 (平日24時~5時)

◎参加費 2000円 (銀行振込・パートナー 1500円)



横山小夜子氏

東京都府中市出身。1977年アスペルガー・アライウンド。妻の自覚以前から、自分自身も自覚して以来、様々な場面で自覚している。現在は、自覚している当事者や家族のサポートを目的に、東京都府中市にある「アスペルガー・アライウンド」で「自覚を促すワークショップ」を開催している。

1992年11月10日生まれ。東京都府中市出身。アスペルガー・アライウンド。妻の自覚以前から、自分自身も自覚して以来、様々な場面で自覚している。現在は、自覚している当事者や家族のサポートを目的に、東京都府中市にある「アスペルガー・アライウンド」で「自覚を促すワークショップ」を開催している。



林田 隆次氏

1977年府中市出身。東京都府中市出身。アスペルガー・アライウンド。妻の自覚以前から、自分自身も自覚して以来、様々な場面で自覚している。現在は、自覚している当事者や家族のサポートを目的に、東京都府中市にある「アスペルガー・アライウンド」で「自覚を促すワークショップ」を開催している。



片山 泰氏



榎田 幸也氏

1969年生まれ。東京都府中市出身。アスペルガー・アライウンド。妻の自覚以前から、自分自身も自覚して以来、様々な場面で自覚している。現在は、自覚している当事者や家族のサポートを目的に、東京都府中市にある「アスペルガー・アライウンド」で「自覚を促すワークショップ」を開催している。

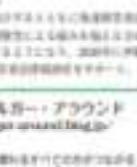
講師 榎田 万登 (SORA)

アスペルガー・アライウンド。妻の自覚以前から、自分自身も自覚して以来、様々な場面で自覚している。現在は、自覚している当事者や家族のサポートを目的に、東京都府中市にある「アスペルガー・アライウンド」で「自覚を促すワークショップ」を開催している。

1977年府中市出身。東京都府中市出身。アスペルガー・アライウンド。妻の自覚以前から、自分自身も自覚して以来、様々な場面で自覚している。現在は、自覚している当事者や家族のサポートを目的に、東京都府中市にある「アスペルガー・アライウンド」で「自覚を促すワークショップ」を開催している。

講師 伊藤 郁子氏

1977年府中市出身。東京都府中市出身。アスペルガー・アライウンド。妻の自覚以前から、自分自身も自覚して以来、様々な場面で自覚している。現在は、自覚している当事者や家族のサポートを目的に、東京都府中市にある「アスペルガー・アライウンド」で「自覚を促すワークショップ」を開催している。



伊藤 郁子氏

